

東日本大震災の復興を考える国際学生フォーラム

主催：お茶の水女子大学グローバル教育センター、同文教育学部グローバル文化学環、同グローバル協カセンター、同リベラルアーツ「生活世界の安全保障」系列

後援：日本学生支援機構ショートステイ・プログラム

テーマ：東日本大震災の復興と私たち——ローカル／グローバルに考える

趣旨：東日本大震災の復興支援に、私たちはどう向き合い、どう関わるべきであろうか。震災は私たちの生活とは無縁な、遠くのできごとではない。ローカルな地域復興という問題は、地域を越えたさまざまな人たちの多様なネットワークの中で動いており、グローバルな意義を持っている。そうしたローカルとグローバルなネットワークの中に私たちは主体的に参加していくことが求められている。そこで、陸前高田市仮設住宅の復興支援に参加した学生、それに日本の外にいて震災と復興の報道に触れ、行動を起こしつつある外国人学生たちとフォーラムを開催することにした。被災と復興の現場の声を聞く機会を用意するとともに、自分たちの関わりのありかたを内在的に議論していきたい。

本プログラムは2009年より本学を中心に行ってきた世界8か国8大学のサイバーコンソーシアム「多言語・多文化サイバーコンソーシアム (Multilingual & Multicultural Cyber Consortium: MMCC)」を基盤として開催されたもので、「東日本大震災の復興と私たち——ローカル／グローバルに考える」をテーマに、震災のあった3.11の満一年の時期に被災国日本に学生が集って行ったものである。

世界7大学と本学の学生が東京に集結し、被災地などを訪問した学生の実習やその報告、被災者による講演などを通し、震災復興と国際連携について討論する。本フォーラムの目的は、震災復興をグローバルとローカルな視点の両方からとらえ、グローバルな若手人材の育成をめざすものである。

海外からの参加大学は、本学のほか、ヴァッサー大学（アメリカ）、釜山外国語大学（韓国）、大連理工大学（中国）、ワルシャワ大学（ポーランド）、カレル大学（チェコ）、チェンマイ大学（タイ）、ボン大学（ドイツ）で、それぞれの国において東日本大震災がどのように報じられ、どのように受けとめられたかについて報告し、このような世界的な災害に世界の若者は何ができるかについて提言を行った。

また本学グローバル文化学環の学生は、10月、12月、2月に陸前高田にて行ったボランティア実習についての報告を行った。

その上で、世界的な大災害に対し、世界の若者は何ができるかについて討論の時間がもたれた。

Forumは来年度の開催についても日本学生支援機構（JASSO）からの支援が決定しており、今回得られた成果と基盤をいかに維持、発展していくかが今後の課題である。

2. 参加大学(Participating Universities)

- ・カレル大学（チェコ） Charles Univ. (Czech)
- ・チェンマイ大学（タイ） Chiang Mai Univ. (Thailand)
- ・大連理工大学（中国） Dalian Univ. of Technology (China)
- ・釜山大学（韓国） Pusan Univ. of Foreign Studies (Korea)
- ・ボン大学（ドイツ） The Univ. of Bonn (Germany)
- ・ワルシャワ大学（ポーランド） The Univ. of Warsaw (Poland)
- ・ヴァッサー大学（アメリカ） Vassar College (U.S.A)
- ・お茶の水女子大学（日本） Ochanomizu University (Japan)

3. 担当教員

グローバル教育センター

森山新 (Moriyama Shin) グローバル教育センター長

越智貴子 (Ochi Takako) グローバル教育センターアソシエイトフェロー
グローバル文化学環

小林誠 (Kobayashi Makoto) グローバル文化学環コース主任

三浦徹 (Miura Toru) グローバル文化学環教授

森山新 (Moriyama Shin) グローバル文化学環教授

小田隆史 (Oda Takashi) グローバル文化学環非常勤講師

中村雪子 (Nakamura Yukiko) 本学大学院博士後期課程院生

4. 日程

3月10日(土) 海外学生来日、チェックイン (大山寮・大塚宿舎)

3月11日(日)

<企画1>震災関連学外イベント参加 (グローバル教育センター担当企画)

11:00 NODO×Ochasにて昼食会

12:30 渋谷・原宿・明治神宮を散策

15:30 東京臨海広域防災センターにて地震体験

17:00 3.11を心に刻む「次世代の創造のために」～東京の夜空を照らす輝きと想い～ (お台場海浜公園)

19:00 解散

3月12日(月) 15:30～16:30

<企画2>モナシュ大学とのテレビ会議討論 (Video conference with Monash University)

(グローバル教育センター担当企画)

場所: D棟508号室(D-Tou Room508)

・自己紹介

・モナシュ大学研修組プレゼンテーション

「日本とAUの原発の現状」

「日本とAUの人の震災に対する意識の違い」

Q&A

・ディスカッション 「原発の将来」

<モナシュ側メンバー>

Takahashi Lisa(お茶の水女子大学) Matsui Mizuho (お茶の水女子大学)

Haoliang Zhao (名古屋大学) Nakanishi Toru (九州大学)

Usada Satoshi (大阪大学) Toyama Hiroka (名古屋大学)

Ohno Miho (大阪大学) Nakamura Fumiaki (大阪大学)

Tozuka Takahiro (名古屋大学) Nicholas Tait (モナシュ大学)

Morgan Prothais (モナシュ大学) Ryan Walsh (モナシュ大学)

18:00 ウェルカムパーティ (Welcome Party in Oyama doom)

(グローバル教育センター担当企画)

場所: 大山寮多目的室(Oyama doom Multiple Purpose Room)

3月13日(火) プレゼンテーション準備日

3月14日(水)

<企画3>世界8大学合同フォーラム「東日本大震災の復興を考える」

(グローバル教育センター担当企画)

場所: 共通2号館102号室

10:00 開会の辞 (Opening Statement)

10:30 学生による研究発表 I (Student presentation I)

カレル大学 (チェコ) チェンマイ大学 (タイ) 大連理工大学 (中国)

12:40 昼食(Lunch)

13:30 学生による研究発表Ⅱ (Student presentation II)

釜山外国語大学 (韓国) ボン大学 (ドイツ) ワルシャワ大学 (ポーランド)
ヴァッサー大学 (アメリカ) お茶の水女子大学 (日本)

3月15日(木)

<企画4>セミナー (Seminar) 「東日本大震災の現場を見て、語り、感じたこと」
(グローバル文化学環担当企画)

(What We Talked and Felt, at the Sight of the Earthquake)

場所：共通2号館102号室

10:00 「陸前高田市被災地状況概況 中里光穂・桐山薫子・安念美智子

10:30 「私たちがであった陸前高田市の復興支援にかかわる様々なアクター」 佐久間志帆・古橋まどか・堀川尚美

11:00 「米崎小学校仮設住宅、集会所の状況、コミュニティ・カフェ運営状況」 武田真佑子・中村千鶴・船渡恵

11:30 「人口流出と雇用創出」 植村奏水・山口彩・松田彩奈

12:00 「私たちの復興計画」 勝島春奈・土屋真美・山下佳乃

12:00 昼食 (Lunch)

<企画5>講演会 (Lecture) 「東日本大震災の被災と復興の現場から：地域を越えて」
(From Recovering Tohoku- Crossing the Border of the Regions)

(グローバル文化学環担当企画)

場所：共通2号館102号室

13:30 「ファインダーから見る被災地」 安田菜津紀 (Tohoku through the Finder)

14:15 「被災地から、いま伝えたいこと：陸前高田での協同の実践」 佐藤一男
(Messages from Tohoku- Practices of the Cooperation at Rikuzentakata)

15:00 「地域の連携を通じた震災復興のあり方」 松崎康弘

(Recovering from the Earthquake through the Regional Cooperation)

16:00 総括討論

17:15 閉会 (Closing)

18:00 フェアウェルパーティー (大学食堂マルシェ) (Farewell Party in Cafeteria Marche)
(グローバル教育センター・グローバル文化学環企画)

3月16日(金)、17日(土) 自由研修

3月18日(日) チェックアウト、海外学生帰国

5. 海外参加者

大学	名前
Charles Univ	Vilém HRUZEK
Charles Univ	Dalibor VIRÁG
Chiang Mai Univ.	Maneerat NGAMKHM
Chiang Mai Univ.	Preeyarat BOONKE
Dalian Univ of Technology	Cunzi HONG
Dalian Univ of Technology	Haiying MA
Busan Univ of Foreign Studies	Yerin YANG

Busan Univ of Foreign Studies	Yirin KIM
The Univ of Bonn	Maxie PICKERT
The Univ of Bonn	Kerrin FALCK
The Univ of Warsaw	Justyna MARIA JASNOS
The Univ of Warsaw	Katarzyna ALEKSANDRA WRÓBEL
Vassar College	Veronica WESER
Vassar College	Janet KANAZAWA

6. 本学学生スタッフ

氏名	NAME	所属	学年
根本 郁	Nemoto Aya	理学部・数学	4年
月田 莉子	Tsukida Riko	文教育学部・言語(英文)	4年
松田 晶子	Matsuda Shoko	文教育学部・言語(日文)	2年
中坪 佑香	Nakatsubo Yuka	文教育学部・言語(グロ文)	2年
岩渕 麻里亜	Iwabuchi Maria	文教育学部・言語(仏文)	2年
山口 真紀子	Yamaguchi Makiko	文教育学部・人文(グロ文)	2年
Hui Zee	Then Hui Zee	理学部・物理	1年
遠藤 由妃	Endo Yuki	理学部・生物	3年
松田 郁代奈	Matsuda Iyona	生活科学部・生社	3年
池田 亜柊	Ikeda Ashu	文教育学部・言語	1年
生駒 有紀	Ikoma Yuki	文教育学部・言語(英文)	2年
薄田 仁美	Usuda Hitomi	文教育学部・言語(英文)	2年
佐野 千紘	Sano Chihiro	文教育学部・芸表	2年
荒井 瑞希	Arai Mizuki	文教育学部・人社(教育科学)	2年
阿部 珠慧	Abe Chisato	理学部・数学	2年
三村 佳緒	Mimura Kao	文教育学部・人文(比歴)	2年
馬渕 茉衣	Mabuchi Mao	文教育学部・言語	1年
鈴木 夏海	Suzuki Natsumi	生活科学部・食物栄養	2年
松田 彩香	Matsuda Ayaka	生活科学部・食物栄養	2年
中井 瞳	Nakai Hitomi	文教育学部・人文	1年
山下 佳乃	Yamashita Yoshino	文教育学部・言語(グロ文)	2年
日浦 加穂	Hiura Kaho	文教育学部・言語(英文)	3年
長谷川 綾子	Hasegawa Ryoko	文教育学部・(グロ文)	4年
渡邊 奈津美	Watanabe Natsumi	文教育学部・人文(比歴)	4年
松田 彩奈	Matsuda Ayana	文教育学部・言語(グロ文)	3年
堀江 真澄	Horiguchi Masumi	文教育学部・言語(日文)	3年
中山 翠	Nakayama Midori	文教育学部・人文(地理)	2年
森田 真奈子	Morita Manako	文教育学部・芸表(グロ文)	2年
成田 矩子	Narita Noriko	文教育学部・人文(グロ文)	4年
西岡 れいな	Nishioka Reina	文教育学部・言語	1年
吉田 早織	Yoshida Saori	文教育学部・言語	1年
田辺 裕子	Tanabe Hiroko	文教育学部・言語	1年

Lee Min Jae	Lee Min Jae	梨花女子大学校交換留学生	
牛嶋 麗夏	Ushijima Reika	理学部・情報科学科	2年
松本 江利奈	Matsumoto Erina	文教育学部・人文(地理)	2年
木村 悠	Kimura Haruka	文教育学部・人文(比歴)	2年
東福 こと子	Tohoku Kotoko	文教育学部・言語(グロ文)	2年
浦田 雅子	Urata Masako	生活科学部・人間生活(生活社会)	2年
平原 紀子	Hirahara Noriko	開発ジェンダー	M2年
Ania Jurago	Ania Jurago	比較社会文化学(生活文化学)	M2年
Kasia Bryx	Kasia Bryx	ワルシャワ大学交換留学生	
Praew Anchana	Praew Anchana	チェンマイ大学交換留学生	
林 綾乃	Hayashi Ayano	文教育学部・言語(英文)	2年
田中 希	Tanaka Nozomi	文教育学部・言語(仏文)	2年
高橋 梨紗	Takahashi Lisa	文教育学部・言語	1年
青木 彩香	Aoki Ayaka	文教育学部・言語(日文)	2年
細井 真澄	Hosoi Masumi	文教育学部・人文(比歴)	3年

7. 地域研究実習Ⅱ報告者名簿

氏名	NAME	所属	学年
中里光穂	Nakazato Mitsuhō	文教育学部・人文(グロ文)	3年
切山薫子	Kiriyama Kaoruko	文教育学部・人文(グロ文)	3年
安念美智子	Annen Michiko	文教育学部・人社(グロ文)	3年
佐久間志帆	Sakuma Shiho	文教育学部・人社(グロ文)	2年
古橋まどか	Furukawa Madoka	文教育学部・人社(グロ文)	4年
堀川尚美	Horikawa Naomi	文教育学部・人社(グロ文)	3年
武田真佑子	Takeda Mayuko	文教育学部・言語(グロ文)	3年
中村千鶴	Nakamura Chizuru	文教育学部・言語(グロ文)	3年
船渡恵	Funato Megumi	文教育学部・言語(英文)	3年
植村奏水	Uemura Kanami	文教育学部・人文(グロ文)	3年
山口彩	Yamaguchi Aya	文教育学部・言語(グロ文)	3年
松田彩奈	Matsuda Ayana	文教育学部・言語(グロ文)	3年
勝島春奈	Katsushima Haruna	文教育学部・言語(グロ文)	4年
土屋真美	Tsuchiya Masami	文教育学部・言語(グロ文)	2年
山下佳乃	Yamashita Yoshino	文教育学部・言語(グロ文)	2年